



Emergency Vehicles Set

車輪が自由に回転する救助車両を使った自由な遊びです。ごっこ遊び、原因と結果の関係への理解、分類する力、私たちに助けてくれる人々に関する言葉の習得を支えます。

内容

3台の乗り物

対象市場

家庭・教育の両方

セットの内容



Baby Fire Engine

9 × 8 × 6 cm



Baby Ambulance

9 × 7 × 6 cm



Baby Police Car

9 × 6 × 8 cm

子どもが学ぶこと



手先の器用さ

つかむ、押す、方向を変える、積む。運転手の頭をひねる動きが、指先でつまむ力を育みます。



原因と結果

押せば必ず動く。予測を学ぶ最初の、いちばんわかりやすい経験です。



言葉

乗り物、お仕事、サイレン、速い・遅い。ワークシートなしで、豊かな語彙に触られます。



はじめての数

車庫に出入りする乗り物を数えながら、多い・少ない、いっぱい・からっぽを体験します。



社会性

順番を待つ、役割を話し合う、みんなで助ける。



想像力

台本はありません。誰が助けを必要としているか、どう終わるかは子どもが決めます。

ひとつのセットで5年間遊べる

6～12か月

乗り物を握り、口にあて、押して、転がるのを見つめる

1～2歳

大人と乗り物を前後に押してやり取りし、乗り物の名前を言う

2～3歳

色で分け、積み込んで数え、乗り物と仕事を結びつける

3～5歳

3人の友だちと一緒にレスキュー活動を最初から最後まで演じ、物語として語り直す

はじめの日に試す



押す、見る、取りに行く

6～18か月・乗り物を1台お子様の方へ転がし、目で追ったり、手を伸ばしたり、追いかけてりする動きをほめましょう。



誰が助けに来る？

2～4歳・乗り物を真真中に置き、みんなで1台ずつ名前を言います。



車庫をいっぱいにしよう

2～4歳・3台の乗り物を車庫に見立てた箱の横に並べます。

テーマ

私たちに助けてくれる人

安全に過ごす

乗り物

私たちの地域

旅

緊急事態

色

